

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年4月5日 (2018.4.5)

【公表番号】特表2017-509696(P2017-509696A)

【公表日】平成29年4月6日 (2017.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2017-014

【出願番号】特願2016-570929(P2016-570929)

【国際特許分類】

C 0 7 K 1/04 (2006.01)

C 0 7 K 1/06 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 M 1/00 (2006.01)

C 4 0 B 40/10 (2006.01)

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

C 0 7 K 14/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 1/04 Z N A

C 0 7 K 1/06

C 1 2 N 15/00 F

C 1 2 M 1/00 A

C 4 0 B 40/10

C 0 7 K 7/06

C 0 7 K 7/08

C 0 7 K 14/00

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月23日 (2018.2.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

規定された波長の電磁放射線に曝露されるとカルボジイミドに変換される光活性カルボジイミド前駆体、カップリング分子、および溶媒を含む、カルボン酸活性化製剤。

【請求項 2】

カップリング分子がアミノ酸である、請求項1に記載の製剤。

【請求項 3】

アミノ酸が、アミン基に取り付けられた保護基を含む、請求項2に記載の製剤。

【請求項 4】

保護基がカルボジイミドに曝露されるとアミン基から外れる、請求項3に記載の製剤。

【請求項 5】

カルボジイミド前駆体がチオンである、請求項1に記載の製剤。

【請求項 6】

チオンが、1-(3-(ジエチルアミノ)-プロピル)-4-(2-メトキシフェニル)-1,4-ジヒドロ-5H-テトラゾール-5-チオンである、請求項5に記載の製剤。

【請求項 7】

カップリング分子を支持体に取り付ける方法であって、以下の工程を含む、方法：

カップリング分子に連結するための複数のアミン基を含む支持体を得る工程；

該支持体を、請求項1～6のいずれか一項に記載のカルボン酸活性化製剤と接触させる工程；

カルボン酸活性化製剤を選択的に電磁放射線に曝露する工程であって、それにより、選択的に曝露された部分において該カップリング分子のカルボン酸基を活性化する、工程；

該選択的に曝露された部分において、該カップリング分子の活性化されたカルボン酸基を、該複数のアミン基の少なくとも1つとカップリングする工程；および

任意で、少なくとも1つのカルボン酸基において所望のポリマーを生成するために、該方法を繰り返す工程。

【請求項 8】

支持体上の異なる選択的に曝露された部分において、カップリングする工程が複数回行われる、請求項7に記載の方法。

【請求項 9】

カップリングする工程が、少なくとも98.5%のカップリング効率を有する、請求項7に記載の方法。

【請求項 10】

カップリングする工程が、少なくとも90%、91%、92%、93%、94%、95%、96%、97%、98%、または99%のカップリング効率を有する、請求項7に記載の方法。

【請求項 11】

カップリング分子がアミノ酸である、請求項7に記載の方法。

【請求項 12】

アミノ酸が、アミン基に取り付けられた保護基を有する、請求項11に記載の方法。

【請求項 13】

保護基がFmocである、請求項12に記載の方法。